

1. 結論

図表 1 3つの数字

測ったこと	結果
顧問先ごとの決めごとが、どこにも書いていない割合	65%
その割合にあたる年間報酬	174,228,000 円
辞める見込みが高い担当が抱えている分	36,936,000 円

資料: 当社実測 (2026-09-01 ~ 2026-09-12・担当者 8 名への聞き取りと、会計ソフトの設定を突き合わせた)

鈴木 (11 年目) さんの頭の中に 36,936,000 円ぶんが入っています。件数ではなく、この金額が経営の話です。

2. 誰が、何を、どれだけ持っているか

図表 2 担当ごとの持ち高

担当	資格	顧問先	年間報酬	書いてある	頭の中の額	辞める見込み
佐藤 (15 年目)	税理士	38	61,200,000	18%	50,184,000	低い
鈴木 (11 年目)	なし	34	48,600,000	24%	36,936,000	高い (本人が独立を示唆)
高橋 (7 年目)	税理士	29	44,100,000	31%	30,429,000	低い
山本 (9 年目)	税理士	17	29,800,000	22%	23,244,000	低い
田中 (4 年目)	なし	26	33,800,000	52%	16,224,000	中
伊藤 (2 年目)	なし	22	24,200,000	68%	7,744,000	中
中村 (5 年目)	なし	6	11,600,000	45%	6,380,000	低い
渡辺 (1 年目)	なし	14	14,700,000	79%	3,087,000	低い

資料: 会計ソフトの担当設定と、報酬の実績から

年次が浅い人ほど『書いてある』割合が高い。教わりながら覚えたので、書き留める習慣があるためです。ベテランほど書いていません。

3. 何が書いていないのか

42 社を開いて、顧問先ごとに違う決めごとを 6 種類に分けました。

図表 3 顧問先ごとに違う決めごと

種類	件数	例	いまどこにあるか	どう書き留めるか
勘定科目の当て方	38	外注費と支払手数料の線引きが顧問先ごとに違う	担当者の頭	顧問先ごとに 1 行で書く。会計ソフトの摘要辞書に入れる
資料の受け取り方	34	紙で郵送／メール添付／クラウドに置く／訪問して回収	担当者の頭	顧問先の台帳に欄を作る
締めの前後関係	29	給与が固まるまで仕訳を切らない、など 順番の約束	担当者の頭	顧問先ごとの手順表に書く
社長の呼び方と話し方	26	専門用語を嫌う／数字だけ見たい／奥様が経理を見ている	どこにも無い	顧問先の台帳に欄を作る
過去の特殊処理	21	3 期前の役員借入の整理、繰越欠損の使い方	過去の申告書（探せば分かる）	顧問先ごとに 1 枚にまとめる
期限の前倒し	17	法定期限より 10 日早い社内締め切りが顧問先ごとにある	担当者の手帳	期限の一覧に入れる

資料: 当社実測（42 社を開いて分類）

「社長の呼び方と話し方」は、どこにもありません。会計ソフトにも紙にも無く、担当者が替わるとゼロから関係を作り直すことになります。

4. 引き継ぎに何時間かかっているか

過去 2 年に実際に起きた担当替え 11 件を調べました。

図表 4 1 社を引き継ぐのにかかる時間

いまのやり方	書いてある場合	差
6.5 時間	2.0 時間	4.5 時間

資料: 当社実測（過去 2 年に実際に起きた 11 件の担当替えを調べた）

顧問先 186 社すべてで 837 時間の差。いま一度に引き継ぐわけではありませんが、**担当替えのたびにこの差が出ます。**

5. 何をするか

図表 5 順番

順	やること	なぜこの順か
1	鈴木（11 年目）さんの顧問先から書き留める	頭の中の額が 36,936,000 円でいちばん大きい
2	「社長の呼び方と話し方」の欄を顧問先の台帳に作る	どこにも無い唯一の種類。作らないと永久に残らない
3	勘定科目の当て方を、会計ソフトの摘要辞書に入れる	いちばん件数が多く、入れれば次から自動で当たる
4	期限の前倒しを、期限の一覧に入れる	手帳にしかなく、担当が休むと誰も分からない

資料: 当社整理（頭の中の額が大きい順・どこにも無いものを優先）

6. 当社がやらないこと

- ・ **税務の判断はしません。** 勘定科目をどう当てるかを決めるのは貴事務所であり、当社は**決まったことを書き留める**だけです
- ・ **記帳も申告もしません。** 税理士法に触れます
- ・ **顧問先と直接やり取りもしません。** 貴事務所を通してのみです
- ・ **書いていないものを想像で埋めません。** 担当者に聞いて、答えが出ないものは「不明」と書きます

当社がやるのは「担当者の頭にあるものを、フォルダに移す」ことです。移した先は貴事務所のもので、解約されてもそのまま残ります。